

原発再稼働反対、「即時原発ゼロ」を求める署名

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

【要望趣旨】

福島第一原子力発電所の事故は、いまだに収束していません。12万人もの県民が避難生活をよぎなくされ、放射能被害は国民に甚大な影響を与え続けています。

政府は、原発再稼働や新增設、原発輸出を公言し、前政権の「2030年代原発稼働ゼロ」というきわめて不十分な方針すら白紙に戻すとしています。しかし、「国民の過半は、原発に依存しない社会を望んでいる」という政府も認めた国民の認識は、政権が交代したことで変わるものではありません。原発推進政策は、「原発ゼロの日本」を求める国民多数の声に真っ向からそむくものです。

政府は、原子力規制委員会の「規制基準」をテコに、再稼働を強行しようとしています。しかし、「規制基準」は、福島原発事故の原因が究明されていないもとで、小手先の対策をならべたものにすぎず、地震対策も、原発の真下に活断層が走っていても、断層が地表に現れていなければ設置を認めるという骨抜きの内容です。そもそも福島原発事故のような事故を想定しながら、「世界最高水準の安全」といって再稼働することなど許されません。

「安全な原発」などありません。ただちに「原発ゼロの日本」を実現することが政治の責任です。

以上をふまえて、私たちは、原発の再稼働を断念し、すべての原発からただちに撤退する決断を行うことを要求します。

【要望事項】

一、原発の再稼働は行わないこと。

一、日本政府がすべての原発からただちに撤退する決断を行うこと。

氏 名	住 所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115にお送り下さい。

止まらない汚染水流出



福島原発事故4年

再稼働とんでもない

東日本大震災、東京電力・福島第1原発事故から4年。福島ではいまだに12万人もの人びとが避難生活を強いられ、原発は漏れ出す汚染水を食い止めることもできず、事故収束のめどさえ立っていません。最近も高濃度汚染水が外洋に流出していたのに、東電は1年以上も隠しつづけ、対策を取らなかったことが明らかになりました。

日本共産党

安倍政権は鹿児島・川内原発、福井・高浜原発を皮切りに全国の原発の再稼働を狙っています。しかし「原発稼働ゼロ」は500日以上続き、何の問題も起きていません。世論調査でも「再稼働反対」は多数です。再稼働などともありません。

近畿民報

2015年3月 No.3(第190号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。